Revival Mission News
RMN

2018 12 December

◉発行者／リバイバルミッション
◉〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
◉TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
◉✉0120-291-372
◉✉office@j-revival.com
◉http://www.j-revival.com

有賀喜一

●*Kiichi Ariga*

1933年福島県生まれ。
人生を考える中、先輩に連れられて教会に行き、
イエス・キリストを救い主と信じる。
栃木県にて教会を牧会。
その後50年以上にわたり、
大衆伝道者として日本および
世界各地を巡回している。
またその傍ら多くの神学校にて教鞭をとり、
校長を歴任。
「人生の変革」「イエスから目を離さないでいなさい」
ほか多数の本の著者としても有名。

「教会と宣教」
道本純行×平岡修治対談

リバイバルミッション2019
「伝道」「リバイバル聖会」

甲子園ミッション
After25レポート

ペルーリバイバルツアー
レポート

47都道府県とりなし
プレイヤーウォーク

Revival Mission
リバイバルミッション

教会と宣教

対談
道本純行×平岡修治

道本純行師

1945年2月米軍の空襲を受ける大阪市内防空壕で生を受ける。疎開、病弱の子供時代。16歳の時、和歌山市優良学生として市長より表彰。TV及び全国紙の取材を受ける。関西聖書学院、日本教会成長研修所卒業。八尾福音教会牧師として46年（1972年より）。欧米、アジアなど諸外国等で御言葉のご用。6つの神学校講師経験。現、関西聖書学院講師。CGNTV説教者。著書「言葉は神であった」「神に追い回された人」「信仰のレースを行く」

平岡:道本先生お忙しい中、ありがとうございます。今日はこれからの日本の教会と伝道についてお話しを伺えればと思っています。よろしくお願い致します。

道本:こちらこそよろしくお願い致します。

平岡:リバイバルミッションでは、ここ数年、全国の地域教会にお願いして伝道会を持たせていただいています。今年も「リバイバルミッション2018」という名称で120か所の地域教会で伝道会を開催させていただきました。

道本:私たちの教会でも昨年、持っていただきました。その節は本当にありがとうございました。

平岡:こちらこそ大変お世話になりました。今年開催させていただいた、ある恵まれた教会の主任牧師先生とお交わりをさせていただいていた時、こんなことを言われていました。それは「うちの教会ではここ数年間、教会の内側を強化するためのプログラムを行って来ました。しかし、昨年バプテスマ受洗者が1名だったんです。」とおっしゃっていました。その為先生は今の牧会姿勢が本当に良いのだろうかと考え、やはり伝道しなくてはいけないと思っていた時に、丁度、リバイバルミッションの事務局より電話が来たそうです。「先生の教会でリバイバルミッション2018という伝道集会をお願いできませんか?」と言われて、早速引き受けたそうです。昼間の伝道会だったのですが、大ぜいの新しい方々が集まり、とても恵まれた伝道会となりました。集会後、先生も「やっぱり伝道しないといけない」と強く教えられたとおっしゃっておられました。

道本:うちの教会も以前と比べると受洗者が少なくなってきました。今度のクリスマスに4人受洗し、その方々をあわせて今年は12、3人の方が受洗されます。

平岡:いや、道本先生の教会は恵まれていますよ。私も全国の教会を巡回させていただいて感じることは、地方教会は大変苦労されておられます。どのように牧会していったらよいのだろうか?と悩んでいます。また無牧の教会が多いことに気づきます。ある牧師先生は県をまたいで兼牧されておられる方もいらっしゃいます。

道本:そのようですね。

平岡:この間も九州の比較的大きな街の教会を訪ねましたが、そこには立派な鉄筋建ての会堂があり、そして昔幼稚園をやっておられた教会で、敷地だけでも1000坪くらいあるような所なのですが、現在その教会は牧師先生はおられず、信徒の方も、おじいちゃん、おばあちゃんが5,6人くらい。月に一回だけ他県から先生が来られ、後は自分たちだけで礼拝しているという教会がありました。日本キリスト教団の2030年問題では教会員の三分の二が75歳以上になるということですが、これは日本キリスト教団だけでなく、福音派も聖霊派も皆同じことが言えると思います。伝道の大切さは誰もが分かっているのですが、「伝道会をしませんか?」と言うと、「教会員も集まらないし、特に新しい方々が集まらないから難しい」と断られてしまいます。私たちが提供する伝道会は経済的には負担をかけることなく、人件費も、印刷代も交通費もこちら持ち、おまけにメッセンジャーと一流のミュージシャン付、費用は当日の席上献金だけ、という教会側にとっては最高にいい条件なのですが…これからの日本の教会をどうしていったらいいのかなと思います。

道本:本当ですよね。そういう悩みは僕も持ちます。

平岡:道本先生が所属しておられる日本福音教会(JEC)ではどうでしょうか？日本福音教会の各教会は順調に成長しているように見えますが…

道本:順調かどうかよく分かりませんが、日本中を巡っておられる宣教師が、「派手さはないけど、JECは若い人たちが普通にいる」と言ってくれます。この間もアメリカの日本人教会の牧師先生が、うちの教会に来て下さったのですが、「ここの教会は若い人たちがいますね」と言ってくれました。うちの教会も受洗者が少なくなっては来ているし、教会員の教勢も何とか横ばいという状況なのですが、それでも感謝なことに若い方からお年寄りの方まで来られておられます。

平岡:クリスチャンホームの子どもたちはどうですか?

道本:数えたことはないけれども、今度4人洗礼を受けるのは全員クリスチャンホームの子どもさんです。

平岡:新城教会の勢力は、なんと言っても、滝元一族ですね。滝元明先生一家は孫の代まで合わせたら八十名くらいいると思います。明先生は徹底して子どもたちのために祈り、信仰に導かれました。

道本:そうですか!すごいですね。うちの教団の富浦先生（国分福音教会・顧問牧師）の所も同じなのですよ。

平岡:何と言ったって産んで増やせというやつですよね（笑）。しかし普通、牧師の家庭は子どもの教育では苦労されていますね。難しいですよね。一般的に牧師は貧しいですしね。

道本:そうなんです。それで牧師の子どもたちが傷を受けるんですよね。私も長い間神学校の教師として教えていますが、神学生たちに「癒やされなかったらこの務めはできないよ」とよく言います。彼らの中には牧師家庭が「貧しかったんだろうなぁ?」とか、「いじめられて育ったんだろうな?」とか考えてしまうんです。でも、その中で主を見上げ、献身して神学校に入ってくる学生には感動します。また精一杯主の為にお働きなさっておられる牧師先生方の意識も、控えめというか、消極的だと思うんですよ。主に仕えるという事は最高の働きと思っていても、クリスチャンが少数民族的であり、経済的に貧しさの中で、控えめの生活、そんな気持ちでいる方もおられると思うんです。

平岡:そういうことは確かにあるでしょうね。牧師の子どもで、クリスチャンにもなっていない、信仰を持っていない方が多いと聞きます。ましてや献身するというのはなかなかいないですよね。私の知っている教団でも、牧師の子どもが献身するという方は本当に少ないようです。日本福音教会(JEC)等がやっておられる神学校、関西聖書学院(KBI)には多くの神学生がおられますが、他の神学校は軒並み神学生が集まらなくて困っているようです。神学校に入学する献身者が少ないようですね。また入学者が一名とか、今年は入らないとかいう神学校がほとんどらしいですね。教団でやっている所は、それでもなんとかやっていけますが、超教派とかは、経済的に大変だと思います。

道本:本当です。救われる人も少ないですからね。

平岡:そうなんですよね。だから教会員もだんだん少なくなっていきますし、これは大きな問題ですよね。

道本:うちの団体で考えてみると、不思議ですが比較的大きい教会からの献身者は出にくいです。宣教師の熱心さに直接触れているような、規模がそんなに大きくない教会のほうが献身者は多いんですよ。うちの教団で、そんなに大きな教会ではありませんが、献身者がものすごく多い教会があるんです。初代の宣教師がなくなって、関係者たちが文集を出したんですが、それを読んでみると多くの青年たちが、その宣教師に直接触れて、次々と献身したと記されていました。また関西聖書学院(KBI)の神学生たちの傾向を見ていると、もちろん大教会の人も来てはいますが、名前もあまり知らない、そしてあまり大きくもない、結構苦労しながら伝道されておられる教会から献身して、学びに来られている方々が多く見られるんですね。

平岡:確かにそのことは私も感じます。地方でがんばっているKBIの卒業生に出会うと感動します。純粋さとひたむきさが嬉しいです。

道本:小さい教会は、牧師先生とともに福音宣教の為に苦労しているから、直接献身のスピリットに触れている人たちが捕らえられるのかなぁと思ったりします。

平岡:以前にリバイバルミッションニュースで、稲葉禮野先生と対談する時を持ちました。日本の教会の牧師が少なくなってきているからどうしたらいいのかということで対談しました。その中で牧師が少なくなってきた今、兼牧することや、それからもう一つは良い信仰を持っていて、教会の役員として忠実に信仰生活を送られてきた方が今は年金生活に入った、そういう人たちが一、二年間、一生懸命聖書を勉強をして、それで地方の教会に遣わされていけば、少しは無牧教会の問題は解決できるのではないかというような話をしました。また、パウロのように働きながら伝道牧会するのも良いかと思うのですが…問題は、仕事に取り組む姿勢なのだと思います。聖書は勤労を尊いものとして評価していますし、「すべての勤労には利益がある」（箴言14章23節）と聖書は語っているわけですから。

道本:僕も同じ考えですね。働きながらの伝道・牧会は賛成です。引け目を感じる必要はないと思います。それと年金生活に入った人たちの献身も賛成です。定年を少し早めにとか、今、六十でも六十五でも結構若いですしね。そういう人を再教育できないかなぁと思います。

平岡:今から神学校に一から入学となると大変ですが、そういうコースがあってもいいのではないかと思いますよね。それからこういう問題は一つの教団だけだとなかなか処理できないので、自分たちの教団から他教団に派遣するくらいの、全く違う考え方の立場に立つ信仰が違うところは別ですが、近い立場に立つ所ならば協力し合うというのも一つの考えだと思います。

道本:うちの教団の中からも、今日本キリスト教団の牧師になっておられる牧師先生もいます。彼もどの程度の年齢で退職したかは知りませんが、教会からのサポートなしで十分ですと言っていました。先ほどの洗礼のことにしても、私の教会では昨年、今年、特にクリスチャンホームの子どもとかCSからの子どもとかの受洗が多かったですね。それと病院とか老人ホームにおられる方が受洗されました。80、90のおじいさんおばあさんです。だから後継者、次世代、とよく言うけど、ご老人も放っておけないです。

平岡:それもすばらしいですね。最近私の教会でも介護施設に入所しておられる方が受洗しました。大切な働きですね。無牧の教会の件にもどりますが、無牧の教会から経済的に苦しくて、牧師先生を招くことができないという声を聞きます。ある牧師先生の研究発表を聞いたことがあるのですが、牧師先生を招くとなると、給与が家族持ちだと約三十万円。そして車も必要、なんだかんだ、少なく見積もっても七十、八十万円かかるから招けない。だから無牧の教会にならざるをえないということです。また残念なことですが、無牧になった教会が異端とかグレイチャーチのターゲットにされてしまうというケースもあるみたいです。

道本:何のターゲット?

平岡:カルトまではいかないけれども、アウトサイダー的なグループが「あなたがたのために礼拝をしましょうか」という形で近づいてくるようです。結構、地方の教会が狙われているようです。飼い主がいなくなり、空き家みたいな教会が狙われるそうです。

道本:そんなことが起きているんですか?よく韓国なんかでも、信徒が牧師の代わりができるようにというようなことはずっと昔から言われていますよね。だけどそれは簡単ではないですね。私も一つの傾向を見て言えることは、例えばハウスチャーチとか家の教会を開拓するとかいう話、いっぱいあるでしょう。あれがずっと続いて、健全な教会ができるかと考えると難しいと思います。うちの教会でも、そのようなケースが今までに十個ほどはありましたが、今はそのうち幾つかなくなってしまいました。教会内で聖書学校を開設して、学びの時を持って、たくさん生徒が集まって、その中から巣立って、信徒たちがハウスチャペルを担う人となりました。10人くらいずつ分けてですね。この信徒を中心に教会形成ができたらいいなと思い始めました。信徒中心で教会生活を送りはじめます。はじめは良いんですが、ずっとやっていると、そこに集っている人達が、プロの説教を聞きたくなるのです。あるいは礼拝時に、教会からビデオを持って行って礼拝します。はじめは良いです。信徒が中心になっての聖書研究。最初はいいんです。新鮮で。自分たちでやるので、良いのです。ところが時間が経つと、やはりちゃんと聖書教育を受けた先生のメッセージが聞きたくなるんです。物足りなくなってきます。先生が欲しいということになってくるわけです。信徒の力は大事だと思うけれども、健康的なグループであっても、家で教会みたいなことを始めて、三年、四年、五年経っていくと、疲れてくるし、教会というイメージがあるから、相互援助し合いながらやれればいいと思いますが、そうでなかったら消えていきますね。

平岡:そういうことはあるでしょうね。指導者がどうしてもほしくなるんでしょうね。ただ、指導者が与えられると信徒が伝道しなくなると言われますよね。

道本:そうなんですよ。先生と生徒の関係が始まり、続いていく。これは問題だと思いますよ。だから、さっき言ったようにうちの教団では宣教師がやっておられたところで、比較的に大きくない教会が、なぜか献身者がたくさん生まれているというのは、宣教師は、言葉も完ぺきではなく、十分に動き回ることができない。そこを自然に補うように献身者が生まれてくるんでしょうね。

平岡:すごいことですね。最後に伝道についてお聞きしたいと思います。今、伝道は何をしても難しい時代ですね。大衆伝道者も少し前までは本田弘慈先生、滝元明先生など多くの超教派で巡回されておられる大衆伝道者がおられましたが、今はいなくなりました。

道本:本当に今、大衆伝道者は聞かなくなりました。その活動や働きも聞こえてきません。

平岡:また、超教派の伝道会もあまり持たれなくなりました。全国の大都市で数カ所、イースター集会やクリスマス集会が持たれていますが、地方では超教派が協力しあう伝道会は少なくなってきています。超教派の集会がきっかけとなり、地域の教会が分裂したり、破綻してしまうという事も聞きます。

道本:愛しあってきた教会が分裂するという事は、悲しいことです。

平岡:本当にこのままでは日本の教会はどうなってしまうんでしょうか?日本の教会は危機的現状ですよね。

道本:本当にそうだと思います。でも、伝道はやり続けるべきだと思います。リバイバルミッションも今後も伝道会を続けてください。伝道会を持つと、教会の兄姉は祈ります。その祈りが教会を変え、地域を変え、日本を変えていくと信じます。リバイバルにもつながるはずです。

平岡:今日は、ありがとうございました。リバイバルミッションも主を見上げ、ひたむきに伝道に励んでいきたいと思います。

Revival Mission 2019

I am the way and the truth and the life. No one comes to the Father except through me.
John 14:6

リバイバルミッション2019

伝道集会

2019年もリバイバルミッションは「福音宣教」を主からの使命として行います。

開催教会大募集！

◉講師は平岡修治師

四国地区
1月29［火］—2月3日［日］◉音楽ゲスト／チェヨンドゥ
九州地区
2月19日［火］—24日［日］◉音楽ゲスト／中村匡
沖縄地区
3月8日［金］—17日［日］◉音楽ゲスト／Duo B→Z
北海道地区
4月9日［火］—14日［日］◉音楽ゲスト／安武玄晃
関西地区
5月10日［金］—12日［日］◉音楽ゲスト／未定
5月17日［金］—19日［日］◉音楽ゲスト／未定
5月24日［金］—26日［日］◉音楽ゲスト／未定
東北地区
6月4日［火］—9日［日］◉音楽ゲスト／井草聖二
北陸地区
7月2日［火］—7日［日］◉音楽ゲスト／井草聖二
中国地区
7月16日［火］—21［日］◉音楽ゲスト／Ami Asiah Kosaka
中部地区
9月6日［金］—8日［日］◉音楽ゲスト／未定
9月13日［金］—15日［日］◉音楽ゲスト／未定
9月27日［金］—29日［日］◉音楽ゲスト／未定
甲信越地区
10月1日［火］—6日［日］◉音楽ゲスト／安武玄晃
北関東地区
10月22日［火］—27日［日］◉音楽ゲスト／チェヨンドゥ
関東地区
11月8日［金］—10日［日］◉音楽ゲスト／未定
11月22日［金］—24日［日］◉音楽ゲスト／未定
※日程は変更することがあります

ある夜、主は幻によってパウロに、「恐れないで、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから。」と言われた。 そこでパウロは、一年半ここに腰を据えて、彼らの間で神のことばを教え続けた。

使徒の働き18:9〜11

近年、日本の教会は伝道集会を持たなくなったと言われています。教会員育成プログラムや小グループを中心とした集会に焦点を合わせる働きが中心になっているように思えます。一昔前、多くの伝道者の先生方が日本中を駆けめぐっていました。その活動もまた最近あまり耳にしなくなりました。教派を越えて協力し合う、町の教会をあげて協力し合う「大衆伝道」もめっきり少なくなりました。

リバイバルミッションは、教会とは主が血をもって贖いとられた神の教会であり、世がキリストにより救われるためにたてられているという考えに立ち、教会の第一義的使命である「伝道」を応援するために、一昨年から日本各地の教会を巡回していく「伝道集会」を持ってきました。今年も約120回の伝道会を展開してきました。

日本の教会が伝道集会を持たなくなった理由は種々あると思います。経済的負担が多すぎる、人があまり集まらない、実が残らないなど…しかし、伝道しすぎると言うことはないはずです。魂のために祈り、その町の人々の救いのために心を傾ける。そこに聖霊が働かないはずはありません。この働きを続けてから、今までも多くの福音の実を収穫してきました。

リバイバルミッションは来年も各地での伝道集会を計画しています。必要経費はリバイバルミッション側で負担させていただきます。メッセンジャー、音楽ゲスト、宿泊費、交通費、印刷代などの費用はすべて私どもが負担いたします。是非、お申し込みください。皆様の教会の祝福をお祈りしています。

平岡修治

わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。［ヨハネの福音書14 章6 節］

リバイバル聖会

個人や教会の問題の真の原因を知り、「敵に打ち勝つ権威」について学んでみませんか？

開催教会大募集！

リバイバルミッション2019 聖会、霊的戦いセミナー等 リバイバルを目指す働きを活性化させます。

◉講師は滝元順師ご夫妻

◉開催予定日
1月14日［月］—20日［日］
2月1日［金］—3日［日］
3月1日［金］—3日［日］
4月5日［金］—7日［日］
5月10日［金］—12日［日］
5月31日［金］—6月2日［日］
7月12日［金］—14日［日］
8月22日［木］—29日［木］
9月6日［金］—8日［日］
10月11日［金］—13日［日］
※日程は変更することがあります

2018年4月より、「新制リバイバルミッション」が発足し、実行委員体制からサーバントチームへと、スムーズに働きがバトンタッチされ、拡大、継承されました。

また今年は、甲子園ミッション25周年という、一つの区切りの年でもあり、先日それを記念して、甲子園球場がある兵庫県西宮市で、リバイバル聖会が開催され、リバイバルのビジョンを、もう一度新たにする事が出来ました。

そんな意味で、2019年はリバイバルミッションにとって、足並みのそろった、新しいスタートの年とも言えます。

振り返れば、甲子園ミッションは最初、「伝道大会」というビジョンからスタートしたのですが、後に、聖霊により、リバイバル運動へと形を変えられて行きました。そして、その運動の中核となったのが、「祈りの運動」であり、最も特徴的な働きが、「霊的戦い」でした。

私は奇しくも、「霊的戦い」の働きに召され、以来、26年にわたって継続させていただきました。様々な批判もありましたが、ここまで、導かれたのは、ただ、主のビジョン以外の何ものでもないと確信しています。

霊的戦いはあまり強調しない方がいい、というような消極的な意見もありますが、それは聖書の中心的概念、「神の国の到来」をもたらす、欠かす事の出来ない重要な働きであり、教会の使命です。それは、最もエキサイティングな聖霊の働きであり、喜びに満ちたものである事を、是非とも、ご紹介したいと願っています。

全国どこにでもお邪魔して、聖会、霊的戦いセミナー等にて、力一杯、奉仕させていただきます。宣教の働きと共々、御気軽に事務局にお問い合わせ下さい。

滝元順

霊的戦いセミナー報告

セミナーを開催した感想

10 月18 日 滝元順先生ご夫妻をお迎えして霊的戦いセミナーが開催されました。主イエス様の十字架の贖いによって、成し遂げられた救いと、和解の御業は、人類に対するだけのものではなく、全ての被造物に対してなされた壮大な勝利と和解の御業であり、私達クリスチャンはお互いに、これら全ての被造物に対しても主にある和解を宣言し、「主の御名を賛美せよ」と命じ、暗やみの支配を打ち破り、全ての被造物が主をほめたたえるという回復をもたらす使命と役割が与えられていることが、詩篇148 篇等みことばを通し、また、実際に起こった証も交え語られました。集われた兄弟姉妹からは、「自分達に与えられていた使命が、どんなに素晴らしいものであるかを改めて、気付かされた。」「主の奇跡を期待する信仰が与えられた。」「心にご聖霊の励ましが温かく注がれた。」などの応答が寄せられ、主の恵みに溢れた感謝なひと時となりました。

新潟県 マラナタエクレーシア牧師
百崎祐美先生

甲子園ミッションAfter25

11月3日、ヒューイットホテル甲子園（旧都ホテル）にて、「甲子園ミッションAfter25」の集会が行われ、大変恵まれた時を持つ事が出来ました。300名の定員でしたが、会場には全国より約350名の方々がご参加下さり、これまでの25年を感謝すると共に来るべきリバイバルへの熱い思いと情熱をもう一度いただくひとときとなりました。神さまがもっておられる計画は日本、アジア及び世界の救いと神さまが帰ってこられるための主の道を備えるためのものであると確認することができ、私たちクリスチャンに与えられている使命を全うさせていただきたいと願うものでした。皆様のご参加とお祈りを心から感謝申し上げます。

参加者の声

◉とても楽しく満たされ感謝感謝の集いでした。25年前の甲子園ミッションを思いだし胸が熱くなり心がふるえ感動しました。また、とりなし手として加わらせていただきます。よろしくお願いします。（大阪府･女性）

◉今日は25年前から今に至るまでの信仰の勇士たちと、共に会えたこと、力強いメッセージに励まされました。このリバイバルの炎を私も神学校卒業生として、新しい皮袋に入れて燃えさせていただきたい。賜物を用いていただきたいです。（静岡県･女性）

◉1993年甲子園リバイバルミッションの年に救いにあずかり、それからの25年間、多くの恵みを受けました。これからは主のために立ち上がらせていただきたいと思わされました。（兵庫県･女性）

◉炎を受けた、とても良い時でした。この炎を持って、これからも宣教に励んでいきたいです。霊的戦いについてさらに深く学んでいきたいです。いつか、セミナーも受講してみたいです。（山口県･男性）

◉甲子園後に救われた者ですが、改めてその感動を見ることができ感謝でした。日本のリバイバルのため、祈り、遣わされたいと願います。（兵庫県･女性）

◉25年間、雲の柱･火の柱で導いて下さった主の勝利に感謝します。家族で参加し、油注ぎを受け、ここから出発します。pureな信仰に燃え立たせられました。pureな信仰を継承し、次世代にバトンタッチしていくよう祈ります。日本のリバイバル、神の国のために投資します。（岩手県･男性）

◉甲子園リバイバルミッションの時、母のお腹の中に居ました。初めて見た甲子園ミッションの様子に驚きました。日本のためにとりなしが必要だと思っていたので覚えて祈ります!（愛知県･女性）

◉はじめから涙が出て、自分でもなぜだかわからないけど感動しました。宣教地でも燃えていきたいと思います。（山口県･女性）

◉明先生のお姿、お声、その純粋な信仰、今ひとたび自分の信仰を燃え立たせ、聖霊に満たされて歩んでいけるように!!今置かれた場所で、主の最善を成せるよう力づけていただいたこと感謝しています。明先生のビデオを見てエリヤの上着をいただいた気持ちでです。（大阪府･女性）

◉25周年、記念では終わらず、新しい扉が開かれたことを感謝します。同じ年に生まれた息子が成長し、神と共に歩めていること感謝です。これからの歩みを主に委ねつつ、リバイバルを求めて祈り進んでいきたいです。（岡山県･女性）

◉ハレルヤ!25年前に生まれ、両親に連れていってもらっていた甲子園ミッション。それが、僕の今の信仰の原点になっています。主が必ず日本にリバイバルを起こされるその日まで、今度は祈り続ける者として立ち続けたいです。（岡山県･男性）

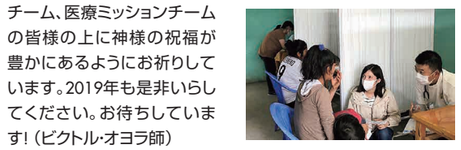
◉もう一度、リバイバルの思いを注いでいただき、日本の救いのため祈りのとりなしをさせていただきたく、思いを新たにさせていただき感謝。主の成してくださった25年間のこと、さらにこれから御業が進められることを期待します。主に栄光をお返ししてハレルヤ。（兵庫県･女性）

◉26年前のリバイバルトレイン前夜の決起大会を思い出すすばらしい主の恵みの集会に参加させていただきありがとうございました。甲子園ミッション後、一時は信仰から離れた生活をしていましたが2010年の東北ミッションで信仰がリバイバルされ･信仰回復･教会との和解と回復･妻の受洗そして今回、誰も思いもよらなかった素晴らしい奇跡をこの集会で体験しました。主に感謝、主に栄光箴言10:12のみことばを体験させていただきました。（岩手県･男性）

PERU ペルーリバイバルツアー・レポート

ペルーにおける宣教ととりなしの働きは、新城教会において救われ帰国したペルー人のために、二十数年前から滝元順牧師により始められたものですが、今回は初めてリバイバルミッションのツアーとして、総勢19名が参加され行われました。前半は首都リマから車で4時間程北上した町ワッチョにおいて、地域のとりなし、霊的戦いセミナー、医療ミッション、地域を巡る賛美ととりなしが行われました。ワッチョは全国魔法使い大会が開催される霊媒の町として知られ、霊媒の泉におけるとりなしからスタートし、続いて南米最古の文明が始まったカラル遺跡において、南米の土台を築かれた地において、主の勝利を宣言しました。三日間にわたり行われた霊的戦いセミナーには多くペルーの皆さんが参加され祝福の時となりました。さらに日本からの医師二人と地元医師がタッグを組み、貧困地と地元教会における医療ミッションには総勢132名の方々が診察に訪れ、診療後は全員が祈りを受け、地域の宣教に深く関わる時となりました。医療ミッションと同時に、地域家庭を訪問し賛美と祈りの時も持たれ、さらに突然、公立中学校においてみことばを語り、賛美をする機会が与えられ、地域に光をもたらす働きがなされました。後半はリマの二か所の教会におけるリバイバル集会が行われ、とても恵まれた集会となりました。また帰国者集会には、日本において信仰を持ち帰国した多くのペルーの方々が集われ、再会の喜びに溢れた集会となりました。最終日は、大統領府におけるとりなしの祈りの時が持たれ、すべて主の深い導きと、世界のリバイバルのための大切な旅であることを感じるツアーとなりました。

ワッチョのマナンティアル デ ベンディシオン教会から、日本の皆様にご挨拶を申し上げます。私達の街は医療ミッションと、霊的戦いセミナーと、2つの大きな祝福を受けました。滝元順師、Zawameki賛美チーム、医療ミッションチームの皆様の上に神様の祝福が豊かにあるようにお祈りしています。2019年も是非いらしてください。お待ちしています!（ビクトル･オヨラ師）



私は、新城教会のペルー宣教に参加して以来、今回が4回目です。特にワッチョ市では3日間、医療チーム、訪問伝道･とりなしチームに分かれ、夜はリバイバル集会に集結しました。医療ミッションで町の信頼を得た私達は、何と公立学校の授業中に、飛び込みで賛美とメッセージの機会を与えられ、6クラスを巡回しました。最初は警戒的だった先生も、順先生のメッセージにたいへん感動されました。また、訪問伝道では、開先生ご夫妻の賛美により、警戒的だった人々が喜びを現し、福音を宣言する祈りに心を開きました。カトリックの人々が、福音的クリスチャンに短時間にこんなに心を開くのは稀だそうです。賛美は、暗闇を破る武器です!最後に、街で一番高い古墳の上から、賛美を捧げ、霊媒師の街を、敵から勝ち取る宣言をし、街の暗闇を撃ち破りました。19名による異なる働きのチームワークが、地方の偶像崇拝の街に大インパクトを与える宣教となりました。（竹内正臣師）

前回のネパールツアー中に、次のペルー宣教でも医療奉仕があるなら参加したいとの思いが与えられました。薬の持ち込みや仮設クリニックでの診療の可否を現地に問い合わせ、様々な準備がなされ、この医療奉仕が実現しました。ワッチョを拠点に2カ所で2日間診療し、132名を診察しました。正直なところ私は、宣教のためにという点では生ぬるいところもありますが、好きなことが宣教に役立ち、大変感謝しています。（新城教会 星野洋[内科医]）

宣教旅行でなければ行くことの出来なかった町「ワッチョ」や「霊媒師の泉「カラルの遺跡」など、皆で賛美して、打ち破りと祝福の宣言をしました。そこに主が栄光をあらわしてくださったのを見ました。また、貧困地域での賛美や医療の奉仕に関わらせていただきましたが、主の愛が流れて人々が癒されるのを見ました。日本でペルーのためにこれからも祈ります。本当に素晴らしい経験をありがとうございました。（主イエスの恵み教会 愛ミチコ）

ネパール宣教ツアー2019募集開始!

世界最古の生活様式を現代にまで保ち続ける山岳民族「チェパン族」に福音を届ける宣教旅行
ぜひ、ご参加ください!

2019年**3月25日[月]—31日[日]** 7日間

◎**参加対象者／高校生以上**（中学生以下は保護者同伴にて可）
標高1000メートルの山上で寝袋生活可能な方

◎**参加費用／5万5千円（Go!Go!）**
現地移動費･食事･ホテル宿泊費［往復航空券別･ビザ取得費用別］

◎**募集人数／20名先着順**
※往復航空券は各自でご予約ください（予約可能なフライト情報をご案内致します）
※ネパール入国のビザは個人で取得をお願いします（入国の際、現地で取得可能25ドル）

霊的戦い 専門課程

誰でも一講義から気軽に学べる月に2回のリバイバルセミナー

好評開講中!

◉主講師
滝元 順

「経済と霊的戦い」
鈴木陽介

毎月開催
目からうろこ、心がおどる、
敵に打ち勝つ
秘訣を学ぼう!

霊的戦い専門課程

まだ間に合います!
11月26日[月]—27日[火]

◉受講料
全日参加価格／14,000円
新世代牧師割引価格／10,000円
※45歳以下牧師(教職者・スタッフ)

◉今後の日程
11.26—27　1.28—29　2.25—26
3.18—19　4.22—23　5.27—28
6.24—25　7.29—30

◉講師
瀧元望

1年限定隔月開催
とりなしと調査の両輪で、
戦略的にとりなし祈ろう!

戦略的とりなしと調査専門課程

◉受講料
全日参加価格／12,000円
新世代牧師割引価格／9,000円
※45歳以下牧師(教職者・スタッフ)

◉今後の日程
2.8—9
4.12—13
6.14—15

リバプレセミナー

Revival Praise Seminar

受講者大募集

1年限定隔月開催
さぁ、あなたも
賛美の
剣を手に取ろう!

◉講師
滝元開 他

次回リバプレセミナーは、
1月11日[土]—12日[日]
「ギター1本で敵陣に
乗り込むために」
申込受付中!

◉受講料
全日参加価格／12,000円
新世代牧師割引価格／9,000円
※45歳以下牧師(教職者・スタッフ)
25歳以下若者割引価格／9,000円

◉今後の日程
1.11—12　3.8—9
5.10—11　7.12—13

※各セミナー、部分参加は一講義2,500円(割引対象者は2,000円)です。セミナー会場は、愛知県新城市にあるリバイバルミッションセンターです。ご不明な点、お申込は、事務局まで!

リバプレセミナーVOL1.レポート

まさにタイトル通り、総勢20名が"賛美の剣"を手に取って、力の限り賛美した2日間となりました!

◉次回プログラム

1月11日[金]
14:00—15:30
セミナー①
「賛美の勇士となるA.B.C. Part2」滝元開
15:45—17:15
セミナー②
「最高の賛美」滝元順
17:15—19:00
夕食
19:00—
オープンセッションI
山頂プレイズ

1月12日[土]
9:00—10:30
セミナー③
「世から賛美を勝ち取る」鈴木陽介
10:45—12:15
セミナー④
「ギター一本で敵陣に乗り込むために」滝元開
12:15—14:00
昼食
14:00—15:30
オープンセッションII
バンドと一緒に90分一本勝負!!リバプレ90mins

オープンセッション「山頂賛美集会」夜間にも関わらず、沢山の子供達も参加し、総勢40名が山頂から主に向かって最高の賛美を捧げました!

ファイナルセッション「バンドと一緒に90分一本勝負!!リバプレ90mins」ひたすら熱くリバイバルを求めて賛美し続けた最高の90分でした!

◆喜びの声

●賛美は"剣"であることがよくわかった。普段何気なく口ずさんでいる賛美が、こんなにも大きな意味をもっていた事に気づかされ、賛美を通して霊的世界で勝利した結果、目の前の現実も変わることが分かった。[愛知県Aさん]

●賛美の剣は、もっときらびやかで、目立って、周りから一目置かれるものと思っていた自分の高慢さを知りました。[東京都Eさん]

●世の中は世界の音楽が主流、賛美が副流になっているが、その現実に対して戦い、世界の音楽を勝ち取る必要性を感じた。「賛美は主への捧げもの」ということが分かった。[愛知県Yさん]

●「敵に奪われた古いたて琴ではなく、新しい創造によるたて琴」と語られ、深い真理があると感銘した。[福井県Cさん]

●賛美リードも楽器もできない私が「賛美の剣を手にしたい」との一心で参加したが、結果、全てが楽しく嬉しく喜びで満たされた最高の時だった! [東京都Hさん]

最後に、私の兄弟たち。主にあって喜びなさい。前と同じことを書きますが、これは、私には煩わしいことではなく、あなたがたの安全のためにもなることです。どうか犬に気をつけてください。 ピリピ3章1-2節

Zawameki初の南米上陸となるペルーリバイバルツアーに参加させていただきました。お祈りを持ってお支えくださった皆さまに心からの感謝をいたします。

ツアー5日目はワッチョを一望できる山の上に、地元教会の若者たちと登りました。そこにはカトリックの偽りの十字架が立てられていました。賛美を持って主の勝利を宣言し、喜び溢れるものとなり、地元の若者たちが共に戦いました。賛美を終え私はギターを抱えて先頭を歩いて下山しました。貧困地域の民家にさしかかった時でした。一頭の子犬が猛烈な勢いで吠え走り寄ってきました。その時でした。私の左側から大きな犬が、子犬に加勢するかのように出てくるなり、何と、不覚にも私の左ももに噛みついてきたのです。かする程度したが、私が怒鳴りつけるとスゴスゴと民家に戻って行きました。しかし、見るとズボンが少し破れ、薄っすらと犬の歯型が残っていました。結果、狂犬病の疑いがあっては大変なことだと地元の病院に行きました。医師は大丈夫だろうと言いい、その上、病院関係者が噛みついた犬を確認に行ってくださり、大丈夫だろうと言うことになりました。でも、大事を取ってワクチンを注射し薬を処方してくれました。同行した宣教師が私が注射を打たれているその横で、看護師たちに「この人は日本の歌手だ」と言い出すのです。じゃあ歌って欲しいと言われ、Zawamekiの代表曲である「主の愛が今」を家内と共にスペイン語で歌いました。6〜7人の看護師が動画に収めながらブラボーと喜んでいくださいました。すると別の処置室でも歌って欲しい、また聖書の話しもして欲しいと言われ、バイク事故で負傷した青年と家族の前で歌いみことばを語る機会まで与えられました。すべてを益とされる主の不思議な体験でした。世界宣教は、その国の君との戦いです。戦いの武器である主への賛美は敵の力を打ち破る大きな力です。ガイドが言うにはペルーの語源は"犬"という説があるとのことでした。敵も黙ってはいられない戦いが始まっていることを感じました。世界宣教の扉は大きく開かれています。それぞれの国の君といわれる、暗闇の力を打ち破るために、さらに喜びを持って賛美を携え前進していきたいと、心熱くされる体験となりました。世界宣教に出かける皆さん、ぜひ犬にはお気をつけください。　Zawameki 滝元開

Zawameki街角同刻PraiseVol.35

2018.12.25[火]15:00〜16:00

"同刻プレイズ"は、同じ賛美を同じ時間に一斉に歌う賛美プランです。クリスマスの喜びの歌声を一斉に主に向かっておささげします。教会を挙げて参加される方から、個人で参加される方まで大募集です。奏楽のできない方のためには、曲順になったCDをお送りしますので、CDに合わせて、ご家庭での参加も可能です。

クリスマスは
あなたの街の
街角から
喜びの歌声を!

東京は、石神井公園野外ステージ
東京都練馬区石神井町5丁目16-21
※東京大会にご参加の方は登録の必要はありません。

◉お申し込み方法
E-mail(doukoku@zawameki.com)まで、参加者氏名(団体の場合:代表者氏名のみ)、住所、電話番号、教会名、参加人数、開催場所を記入の上ご応募ください。E-mailをお持ちでない方はFax.0536-23-6220までお知らせください。
♪雨天決行
Please pray for this day!

◉曲目
勇気を出して
主イエスが生まれた
すべてが生きる
その日を開いて
国を越え言葉を越え
主に愛されている者
Jesus is coming soon
ダビデの子にホザナ
いつも喜び絶えず祈り
主の愛が今
Hosanna!
Maranatha
勝利・感謝・主に栄光
Dancing

Zawameki 2018—2019 Schedule

12.4[火]—7[金]Zawameki香港

12.8[土]19:00~ Z.W.S.新城
会場／新城教会 愛知県新城市富沢407-1

12.9[日]14:00~ Z.C.L.at東京希望キリスト教会
東京都武蔵野市境南町2-28-15 マンション峰1F

12.15[土]14:30~ Z.W.S.東京Vol.174
会場／お茶の水クリスチャンセンター4F 416号室
東京都千代田区神田駿河台2-1

12.16[日]14:00~ Z.C.L.at純福音春日部教会
埼玉県春日部市小渕170-1

12.25[火]15:00—16:00 Zawameki街角同刻PraiseVol.35 @全国・世界の街角から
東京／石神井公園野外ステージ
東京都練馬区石神井町5丁目16-21

2019.1.11[金]—12[土] リバプレセミナー
会場／ミッションセンター 愛知県新城市富沢407-1
参加者受付中!

2019.1.19[土]14:30~ Z.W.S.東京Vol.175
会場／お茶の水クリスチャンセンター4F 416号室
東京都千代田区神田駿河台2-1

2019.1.26[土]19:00~ Z.W.S.新城
会場／新城教会 愛知県新城市富沢407-1

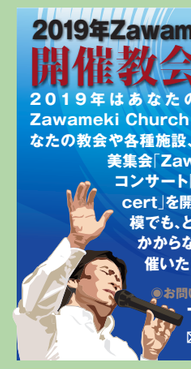
2019.1.27[日]10:00~ Z.C.L.atライフリバーチャーチ浜北
静岡県浜松市浜北区豊保157-17

2019.2.9[土]14:30~ Z.W.S.東京Vol.176
会場／お茶の水クリスチャンセンター4F 416号室
東京都千代田区神田駿河台2-1

2019.2.16[土]—26[火] Zawameki HAWAII

2019年Zawameki Church Live 開催教会募集中!!

2019年はあなたの教会で、あなたの街でZawameki Church Liveを開催しませんか?あなたの教会や各種施設、さらには職場や家庭でも賛美集会「Zawameki Church Live」や、コンサート「Hiraku&Noriko Concert」を開催いたします!どんなに小規模でも、どの地域でも開催にご負担がかからないように席上献金のみで開催いたします。



◉お問い合わせはZawameki事務局まで。
Tel.0536-23-0024
✉club@zawameki.com

同刻プレイズ

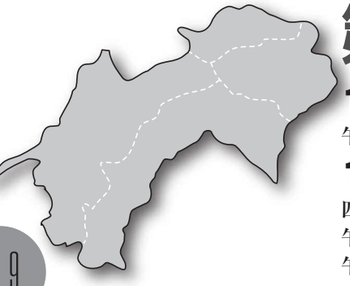
毎日夕方4時になったらZawamekiを歌う。
週毎の曲目をお知らせします。
ぜひ、職場で、学校で、
家庭で、地域で、
教会で、賛美をおささげください。
♪週毎の同刻プレイズ
選曲は以下の通りです。

12月 2日—12月8日●エベン・エゼル
12月 9日—12月15日●主イエスが生まれた
12月16日—12月22日●叫ベイエスに
12月23日—12月29日●もっと激しい風が
12月30日—2019.1月5日●Hosanna!

キリストの体をつなぎ、結び合わせ、ひたすらリバイバルを求めて祈ろう！

巡回とりなしプレイヤーウォーク 中国地方レポート 10月21日—26日

中国地方を、岡山県、鳥取県、島根県、山口県、広島県と巡りとりなし祈らせて頂きました。大阪から三人の牧師師弟の兄弟が共に旅に参加して下さり、各地では現地の方々も合流下さって、賛美し、とりなし祈ることが出来ました。中国地方は広く山陽山陰で表されるように、豊かで変化とそれぞれが違う風土をもった地域です。キリストの体にあって繋ぎ、とりなし祈っていく大切さを感じました。



第4弾は、四国地方！ 12月1日[土]—3日[月]

12月1日[土]

午後2時:愛媛県佐多岬(四国最西端)

12月2日[日]

四万十市奥屋内:早朝礼拝(奥屋内グロリファイハウス)
午前11時:高知県足摺岬(四国最南端)
午後4時:室戸岬

12月3日[月]

午前10時:徳島県蒲生田岬(四国最南端)
午後4時:香川県庵治町四国最北端の地
午後7時～:とりなし祈祷会in四国福音キリスト教会

※各地時間の変動がありますので、
合流して下さる方は必ず事前に御連絡下さり、
確認をお願い致します。

Pray for Revival

全国の皆さんとインターネットyoutube LIVEで繋いで祈る集会です。
ぜひご参加下さり、共に日本と世界のリバイバルのためにお祈りしましょう！

12月のPray for revivalは、12月6日[木]10:00am～11:30am

※12月は第一週目の木曜日開催となりますのでお間違えないように

Pray for revival専用チャンネル◉http://www.youtube.com/c/Revivalmission2018/live

Christmas Gospel Concert & Message 2018

クリスマスゴスペルコンサート&メッセージツアー2018

Akira Takimoto Ministry

◉日程／2018年12月7日(金)～16日(日)
◉音楽ゲスト／ジョン・フルカー
リオネシア・マクグリフ
◉メッセンジャー／平岡修治

12月 7日[金]クリスチャンライフ(愛知県名古屋市)
12月 8日[土]西尾聖書バプテスト教会(愛知県西尾市)
12月 9日[日]橋本バプテスト教会(和歌山県橋本市)
12月10日[月]・11日[火]現在調整中
12月13日[木]京都ハートフルトポス(京都府京都市)
12月14日[金]アバ・キリスト教会(滋賀県近江八幡市)
12月15日[土]もくせい会館・富士ホール(静岡県静岡市)
12月16日[日]新松戸リバイバルチャーチ(千葉県松戸市)

ジョン・フルカー

平岡修治

リオネシア・マクグリフ

Jesus is Alive

イエス・キリストは今も生きておられる！

主は生きておられる。ほむべきかな。わが岩。あがむべきかな。わが救いの神。
詩篇18篇46節

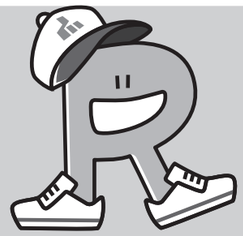
Akira Takimoto MINISTRY

お問い合わせ■滝元明ミニストリー事務局
wrsmichi@w5.dion.ne.jp Tel.080-3633-1046
滝元明ミニストリー支援献金口座
■三菱UFJ銀行 豊橋支店(普通)0389749 名義:滝元明ミニストリー
ゆうちょ銀行00830-3-216653 名義:滝元明ミニストリー

2018 12 December リバイバルミッションスケジュール Schedule

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
25 14:30 ZCL カリスチャペル白庭台 / News ニュース発送作業 @橋本バプテスト教会	26 ← 専門課程 霊的戦い専門課程 →	27	28	29	30	1 霊的戦いセミナー @氷見キリスト教会 / 午後2時@愛媛県佐多岬(四国最西端) / 第4弾とりなしプレイヤーウォーク四国地区
2 霊的戦いセミナー @氷見キリスト教会 / 午前11時@高知県足摺岬(四国最南端) 午後4時@室戸岬	3 午前10時@徳島県蒲生田岬 午後4時@香川県庵治町四国最北端の地 午後7時～とりなし祈祷会 @ 四国福音キリスト教会	4	5 Zawameki 香港	6 Pray for Revival 10:00 Pray fo Revival	7 Akira Takimoto MINISTRY 滝元明ミニストリー	8 19:00 ZWS新城
9 14:00 ZCL東京希望キリスト教会	10	11	12 Akira Takimoto MINISTRY 滝元明ミニストリー	13	14	15 14:30 ZWS東京
16 14:00 ZCL純福音春日部教会 / 滝元明ミニストリー →	17	18	19	20	21	22
23 News ニュース発送作業 @新城教会	24	25 15:00 Zawameki 街角同刻Praise	26	27	28	29
30	31	2019 1	2	3	4	5

← リバイバル聖会「The Fire」 →



前号で発表しましたリバイバルミッションのキャラクターの名前を募集します！おひとりいくつ応募して下さっても結構です。応募下さった方には、キャラクターステッカーとリバイバルミッションステッカーを差し上げます！キャラクターの名前をメール、お電話またはハガキに内容をお書き込みの上ご郵送下さい。

キャラクター名前募集！

■応募先／リバイバルミッションキャラクターネーム係
■応募内容／キャラクターの名前、応募者の郵便番号、住所、お名前をお知らせ下さい。
✉office@j-revival.com ☎0120-291-372
■郵送先／〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
「リバイバルミッションキャラクターネーム係」宛

キャラクターを作成して下さった伊藤信さんにキャラクターのコンセプトを伺いました。

このキャラクターはリバイバルミッションのRをモチーフにしてます。外観について、帽子とシューズといった身軽さスポーティさのようなものは、それから、イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られたものに、福音を宣べ伝えなさい。マルコの福音書16章15節」という聖書箇所や、実際に行われている世界宣教などから、身1つでどこにでも出かけていくポジティブさや前向きさ、また活発さをイメージしました。遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。次のように書かれているとおりです。「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。ローマ人への手紙10章15節」といった聖書箇所から、力強い足をイメージしました。あとは、特徴的な大きな口には、被造物への宣言や主への賛美などを大声でしていこうという意味合いも込めています。

いつもリバイバルミッションのためにご支援くださり感謝いたします。

10月の会計報告ですが、今月も多くの皆様のサポートにより、まだ不足もありますが、今月も少し回復したことを感謝します。11月12月はリバイバルミッション2018やその他の集会の支払いなどがもありますので、まだ多くの必要もあります。また2019年1月からはリバイバルミッション2019もスタートします。さらに宣教の拡大のために、前進していくことができるようにお祈りくださると共に献金をもって支えてくださいますようにお願いします。

会計報告2018年10月度

収入		支出	
前月繰越金	-3,052,290		
一般献金	1,673,847	事務運営管理費	1,068,079
集会献金・参加費	4,000	一般旅費交通費	101,727
国内宣教指定・集会献金	1,646,179	通信費	547,519
世界宣教献金	504,502	印刷費	631,003
霊的戦い指定・集会献金	718,856	国内宣教諸経費	1,031,600
ざわめき指定・集会献金	640,375	集会諸経費	340,152
賛美教育指定献金	128,100	霊的戦い諸経費	344,393
		ざわめき諸経費	417,734
		世界宣教経費	0
		神学校借入返済	354,384
収入合計	5,315,859	支出合計	4,836,591
		次月ミッション繰越金	-2,573,022

2019 リバイバル聖会

新春！
特別企画

万軍の主は、雷と地震と
大きな音をもって、
つむじ風と暴風と焼き尽くす
火の炎をもって、
あなたを訪れる。［イザヤ書29章6節］

The Fire

2019年。年のはじめに24時間
賛美とみことばと祈りで満たされよう！
熱い聖霊の火を求める24時間！
主よ！燃える炎をもって来て下さい！

2019

1.1［火］16:00—1.2［水］16:00

| 会場 |

新城教会
愛知県新城市富沢407-1

| Fire Messenger |

有賀喜一／平岡修治／滝元順
山﨑ランサム和彦

登録費無料!!
どなたでも、いつでもご参加いただけます。

お食事・仮眠
1月1日夕食800円（海鮮丼と芋煮）
1日仮眠&2日朝食／1,500円
2日昼食500円
（食事と仮眠は事前のお申し込みが必要となります。）

席上献金があります。

◉お申し込み・お問い合わせ
リバイバルミッション
TEL.0120-291-372

◉プログラム

	1月1日［火］	1月2日［水］	
		プレイズ	
		朝食	7:30
		プレイズ&メッセージ 山﨑ランサム和彦	8:30
		昼食タイム	12:00
		プレイズ&メッセージ 滝元順	13:00
15:30	受付		
16:00	プレイズ&メッセージ 有賀喜一	閉会	16:00
19:00	夕食タイム		
20:00	プレイズ&メッセージ 平岡修治		

Revival Mission
リバイバルミッション

フリーダイヤル 0120-291-372
〒441-1307 愛知県新城市富沢407-1
TEL.0536-23-6712 FAX.0536-23-6220
✉office@j-revival.com
URL: http://www.j-revival.com

リバイバルミッション情報
祈りのLINE登録してお祈りください！

リバイバルミッションのホットな情報と祈りのリクエスト、集会の様子などを配信します！
◎友達登録方法・・・「友達追加」からQRコードリーダーにてQRコードを読み込んで登録
◎facebookでリバイバルミッションにイイね！を入れてください。
※次回1月号のニュースは12月23日(日)発行予定です。